



























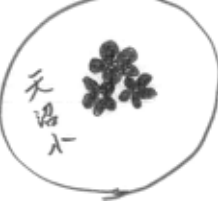

資料編




天沼小学校校章(応募作品)

「杉・若葉」	
 <p>001 杉の木</p>	 <p>002 まわりの絵は杉五と若杉をあわせて書きました。</p>
 <p>003 天沼小学校の天と杉並第五小学校のわくがあるから。</p>	 <p>004 二校統合により、更なる充実・発展をして行く、そのイメージを表現。</p>
 <p>005 天というと、なんとなくすずしいきぶんになるから、はっぱにしました。</p>	 <p>006 天沼小なので天沼小とかきました。まんなかに杉並区の杉をかきました。</p>
 <p>007 まっすぐのびる杉の木のように、あたらしい天沼の小学校がすばらしい学校になるようにという思いをこめて。</p>	 <p>008 なぜ杉の木にしたか...「杉五小と若杉小がいっしょになったから、両方の「杉」をとって杉の木をかいてみました。中の「天」は...「天」と言う字はよく見ると杉の木ににているから、杉の木の中に「天」をいれてみました。</p>
 <p>009 天沼小学校の名前を入れた。杉並なので、まわりに杉を書いた。</p>	 <p>010 杉並区の杉の木をイメージと、天沼の「天」と小学校の「小」をとって、書きました。</p>
 <p>011 天沼小なので、天沼小にしました。杉の葉のように、じょうぶに育つように。</p>	 <p>012 杉並の杉の木の中で、子どもが元気に遊ぶ様子。</p>
 <p>013 中央に新校名の「天沼」を配し、杉五と若杉の二つの小学校が統合して天沼小が誕生したことを示す二本の輪で囲んだ。 校名の周囲に配するデザインは、杉五小と若杉小の校章を思い起こせるよう、それぞれの校章の一部分を抽出して組合わせた。杉五小校章に使われている「杉の枝」と若杉小の「杉の若葉」を、優勝者に与えられる月桂冠のように周囲に環状に配し、天沼小の児童がチャンピオンたらんことを願った。</p>	
 <p>014 図案のコンセプト： 5本の若い杉の木が空に向い、まっすぐに伸びていく姿を現した。 説明： 杉並第五小、若杉小それぞれに歴史があり多くの卒業生がいます(私を含めて...)。また、天沼小の在学、入学生にも「天沼小」の成り立ち、歴史を知ってもらいたいから、「5本の若杉」をテーマとした図案を作成しました。</p>	













<p>015 杉並第五小学校の 枠組はそのまま残 し、まん中に「天 沼」と入れるとい うのはいかがでし ょうか。</p>	<p>015 杉並区立の小学校の中で、「第五」 の番号が欠番になってしまうのは、今 回の合併で仕方がないこととはいえ、 やはり淋しいことと思い、せめて校章 に残してあげたいと思いました。</p>	<p>016 わか「葉」というイメージ。</p> 
	<p>017 葉っぱはわか葉のイメージで、天沼 はいれたほうが良いと思ったから。</p>	<p>018 りんごのくきをとって葉っぱを2まいつ きました。</p> 
	<p>019 天沼小学校で「天小」にしているの は、天沼中学校があるからです。まわ りのイメージは、「葉っぱ」のように、「小 さくてもいずれ大きくなれる」というイ メージで考えました。「黄・オレンジ・ 緑」というのは、葉っぱの中にある 色で、校章を作ってほしいと考えまし</p>	<p>020 しぜん、森のみどり。</p> 
	<p>021 「あま・ぬま」(天沼)・小学校の「小」の文字に、区木「さざんか」(上部)・杉・あけぼのすぎ (下部)を組合せ、天沼小学校の明るく元気な姿を、子どもたちからお年寄りまで誰にでも一目見てよ くわかり広く愛され親しまれるようにデザイン。 「さざんか」の三つの若葉は子どもたちの「よく考える子」・「思いやりのある子」・「たくましい子」と学 校・保護者・地域との共生を、「杉・あけぼのすぎ」は子どもたちの自他の生命への尊重と「知・徳・体・ 食」育を、「小」は児童と児童・先生と児童・学校と地域の手につなぐ交流と明日拓く教育の人・も の・情報の発信を表現し、これは又、21世紀をリードする杉並区の「天沼小学校が力強く飛翔発展す る勇姿を象徴したものである。</p>	
	<p>022 天沼の「天」と小学校の「小」を基本 に、「未来に向かって成長する若葉」 「未来に向かって飛翔する翼」・「健やか な児童」にイメージを重ねデザイン。 また、夢や希望に向かっていきいきとは ばたく子ども(児童)の姿を表現して います。</p>	<p>023 杉五があって若杉のくさのマークをか いた。</p> 
	<p>024 木たちがすくすく育つように、せいと たちも育っていくというように書いた。</p>	<p>025 いちようは東京というイメージをあらわし て、天沼沼というのは天沼小学校とい うイメージです。</p> 
	<p>026 すぎとすぎなみ五小をがったいさせ た字。</p>	<p>027 しあわせのクローバーで天沼小はし あわせになる。</p> 
	<p>028</p>	















「花」

 <p>101 さくらの花</p>	 <p>102 さくらの花みたいに、りっぱに育つというイメージでかきました。</p>
 <p>103 さくらの葉っぱと花びらをイメージして書きました。花びらがいっぱいおちていて、その上下に葉っぱがおちています。とてもきれいに書けました。</p>	 <p>104 理由...桜の花のように明るく元気の良い学校にしたいと思ったから。</p>
 <p>105 天沼の天が空に伸びているイメージで伸びた先に桜の花が咲いている。天沼小の屋上からは富士山が見えている風景を表現しました。</p>	 <p>106 学校 = 桜の木、みんな桜が印象的だし、好きだから。桜の花びらの上に天沼。</p>
 <p>107 天という字は、若杉小と杉五小が二本に人が集まったという意味を込めて。桜は杉五小の校庭で今までの児童を見守ってくれたこと、そして桜が残れば、これからの児童も見守って欲しいという思いを表現しました。花びらは、先生・PTA・地域・若杉小・杉五小のそれぞれの卒業生や今までのお世話になった教職員の方々に支えられていることを表現しました。</p>	 <p>それぞれの卒業生や今までの教職員の方々</p>
 <p>108 満開の桜が開校を祝う中、天沼小の子どもたちが輪になって遊んでいる様子。「天」の字の持つのびやかなイメージ。</p>	 <p>109 校庭の大きなさくらがなくなってしまうので、校章にのこしたいと思います。杉並区なので、杉の葉っぱもかきました。</p>
 <p>110 さくらの花びらの上で、5人の子もたちがわらってる。</p>	 <p>111 キレイな春の桜をイメージしています。</p>
 <p>112 若杉小学校にもよくさく元気な花と葉をイメージしておもいつきました。</p>	 <p>113 花</p>
 <p>114 花は「わすれな草」です。今までにないものを考えました。</p>	 <p>115 花は「わすれな草」です。今までにないものを考えました。</p>








 <p>116 さざんかの花をイメージしたえ。</p>	 <p>117 花のえとあまのじをつかったやつ</p>
 <p>118 三国紅(さざんかの品種名の1つ)を かいぞうをしてこのもじにできた。</p>	

「太陽・星」

 <p>201 太陽のように明るいといいからです。</p>	 <p>202 ぜんたいは空をイメージしています。 線は太陽の光をあらわしています。よく 見えないけれど、上のほうに星が二 つあります。まん中は太陽です。まわ りは天沼小学校と書いてあります。</p>
 <p>203 世の中を明るく照らす光となって欲し い！との願いから太陽です。</p>	 <p>204 太陽は元気みたいだから。メガネは 頭がよさそうだから。天は天気のだ から太陽をかいた。</p>
 <p>205 太陽みたいに明るくてみんなをてら す人になりたいという意味でかいた。</p>	 <p>206 空のように、広い心をもてるような表 現。</p>
 <p>207 月と星と太陽の中がかがやく小学 校。月・星・太陽みたいに明るくてす ごい小学校。</p>	 <p>208 天の川みたいなきれいな学校でいて ほしいから。</p>
 <p>209 天沼小学校がはじけてる感じ。</p>	 <p>210 バスケをやる人のような元気なこうき。</p>
 <p>211 杉並区の統合第一号という事で、未 来の新星小学校という事で、星と天 沼小の天を入れました。</p>	 <p>212 空にかがやく星のように、みんながそ れぞれの個性を持ってかがやいてほ しいという気持ちを星に表わし、若杉 小と杉五小の星を合体させました。</p>

 <p>213 杉五小の五角形をもとにしました。</p>	 <p>214 「天」の字から星をそうぞうしたので、星のデザインにしました。</p>
 <p>215 明るくて、元気な学校になってほしいからです。</p>	 <p>216 星がきれいだから。</p>
 <p>217 ピカピカの学校で、一人一人が光輝くように、のびのびと学び、育ててほしいと思い星形にしてみました。</p>	 <p>218 天のまわりに星がたくさんひかっている。</p>
 <p>219 天沼の天をとって、たいようが、いつも、光っているから、そうしました。</p>	 <p>220 太陽みたいに明るい学校のようになってほしいとおもって。</p>
 <p>221 まわりのがらがたいようみたいだから元気みたい。</p>	 <p>222 天ぬま小の「天」</p>
 <p>223 みんなが星みたいに、きらきら、ひかっているといいから。</p>	
「その他」	
 <p>301 開いた本は「学問」と「天沼にかつて住んでいた多くの文士」にちなんで、文化薫る地域を表わす。Vの字に開いた上部は大きくはばたく子どもたちの未来を表わす。下のリボンは若杉小と杉五小の連帯・友和を表わす。 中央の形は、大きくのびる大樹のイメージも含む。リボンの中に文字や植物を入れることもできる。左右の表紙は若杉小と杉五小の象徴で、二校が連帯して一つの未来像を造っている。</p>	
 <p>302 つよく結ばれた絆(リボンです)。のびのびと育っていく。</p>	 <p>303 下の線とハートが、先生と子ども。なかよくをあらわしている。</p>

 <p>304 上はクリスタルのように、かがやいて生きる。下は、二つの校のみんなが、力を合わせてガンバル！ということ。</p>	 <p>305 ほう石の形をイメージしました。理由は「子どもはたから物・ほう石」などを表現したかったからです。</p>
 <p>306 天沼小学校の子たちが鳥のように力強くはばたいていけるように、このマークに決めました。</p>	 <p>307 若杉小と杉五小が手を取り合って、幸せな気持ちになれ、地域の人々からも見守ってもらえる学校。</p>
 <p>308</p>	 <p>309</p>
 <p>310 未来へはばたくつばさ。天の雲と沼の絵。天にはばたく、未来へはばたくきれいな学校というイメージ。</p>	 <p>311 天沼小が日にあたっていて、生き生きしているところをあらわしてみました。</p>
 <p>312 天沼小が日にあたっていて、生き生きしているところをあらわしてみました。</p>	 <p>313 キレイな中に天沼小学校があるかんじです。</p>
 <p>314 天沼の「天」は天国の天だから、デザインは天国をイメージしたものです。</p>	 <p>315 ドラゴンの口から出ている火に天沼の文字が出ている。</p>
 <p>316 きらきらかがやく学校をイメージしました。</p>	 <p>317 二つの輪は、杉五小と若杉小の輪＝和を表わしています。まん中の光は、みんなが協力し合って、1つの光になることをイメージして書きました。</p>
 <p>318 元気で明るい学校。</p>	 <p>319 天沼小学校の天。</p>

 <p>320 天沼小でもがんばれるように。</p>	 <p>321 杉並区の中の天沼小学校だから。</p>
 <p>322 二つの学校(若杉小と杉五小)が交わるイメージ。</p>	 <p>323 天沼小学校、略して天小を天中の校章と同様に表現した。</p>
 <p>324 地球、未来、天沼、杉。</p>	 <p>325 まずこのながまるは、たくさん入りやすいようにやりました。で、このくねくねはなみで、すぎなみのなみをかきました。それで、この黒はかいてみただけです。</p>
 <p>326 たいようみたいにあたたかい学校にしようということ。</p>	 <p>327 この方がいいと思った。</p>
 <p>328 杉五小と若杉小が手をつないで1つになっている様子です。</p>	 <p>329 天沼の天が雲みたいだったから。しかもくぎってあるからみやすい。</p>
 <p>330 若杉の校章と杉五の校章が合体して杉の木をイメージしています。杉五は月、若杉は太陽です。太陽のように明るい若杉と月のようにきれいでたのしい杉五です。</p>	 <p>331 天沼小を守るようにするから、たてみたいにした。</p>
 <p>332 丸の中に天沼と杉五と若杉をかく。</p>	 <p>333 天沼中と天沼小は交わりやすいから小をつけてわかりやすく表げんした校章。</p>
 <p>334 いつもあかるい子、元気な子、というわけでこういうふうになりました。</p>	 <p>335 天のまわりに畑がある。沼は畑みたいだからかいた。</p>

 <p>336 まもっているかんじ。中のがらが天ぬ まをまもっている。</p>	
--	--